

ワーキング ヴォイス

NO. 29 2011 年 7 月 15 日

SUPER COOLBIT

夏の働き方を考えよう!!

環境省では地球温暖化対策としてクールビズを推進してきました。今年の夏は震災の影響で電力不足もあり節電、省エネ対策として、これまでより一歩踏み込んだ取り組みのスーパークールビズとして『28』（室温管理）、『ワークスタイル』（勤務時間等の変更）、『ファッション』（軽装勤務の奨励）、『オフィス』（設備等での工夫）、『アイデア』（生活のちょっとした工夫）の5つの場面において具体的な行動目標が提起されています。そうした事を義務としてではなく、日常の様々な工夫で、カンタンに、かっこよく、クールに過ごせるアイデアが求められています。新しいライフスタイルに変化させつつあるスーパークールビズ、知恵と工夫で暮らしの一つひとつを見つめ直してみませんか？

今月号では「夏の働き方を考える」（サマータイムの導入やノー残業デーによる節電等）をテーマに、厚生労働省が労使向けに推進している取り組みと、スーパークールビズについてのアンケートを、四国労働金庫、全労済愛媛県本部、愛媛県勤労会館で働く職員の方々に回答いただいたので紹介させていただきます。

夏の働き方を労使で工夫してみませんか!!

厚生労働省からの提起

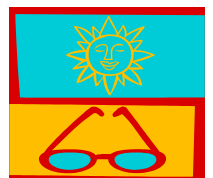
スーパークールビズの呼びかけに沿って、厚生労働省が企業内での節電の取り組みとして、「電力不足に対応した働き方・休み方の工夫に向けて」の労使の話し合いのためのインフォメーションを発信し、みんなで納得し、協力して取り組むことを要請しています。職場での具体的な話し合いのポイントとして、以下の事が提起されています。

昼間の節電対策

その理由は？ 1日のうちで冷房に用いる電力を中心に9時から20時までの需要が大きくなります。

（昼間の電力節電のために、始業・終業時刻を見直す。）

- ・ 始業・終業時刻を繰り上げる。（就業規則の変更・届け出必要）
例・夏季は始業を午前7時・終業午後4時などと繰り上げます。
- ・ 所定労働時間を短縮する。（就業規則の変更・届け出必要）
例・1日8時間、1週40時間の所定労働時間を夏季は1日7時間、1週35時間などと短縮します。
- ・ 所定外労働時間を削減する。（特に手続き必要なし）
例・ノー残業デーやノー残業ウィークの設定。所定外労働を行わない。



平日（月～金曜日）の節電対策

（平日の電力節電のために、所定休日を見直す。）

- 所定休日を土曜日・日曜日以外の日に変更する。
（就業規則の変更・届け出必要）

その理由は？ 1 週間のうちで
企業の休みの多い土曜、日曜の電力
需要は平日と比べ相当低下します。

夏季の休業・休暇の分散化・長期化による節電対策

（夏の電力節電のために、連続休業・休暇を活用する、
労働時間の長さを見直す。）

- 所定休日を増加する。（就業規則の変更・届け出必要）
例・所定休日に夏季はそれ以外の曜日を追加します。
- 年次有給休暇の計画的付与制度を導入する。（労使協定の締結 + 就業規則の変更・届け出必要）
例・年次有給休暇の内、5 日を超える部分について、労使協定に基づき、計画的に休暇取得日
を割り振る事ができます。

その理由は？ 8 月のお盆
の時期は、企業の夏季の休
業等が集中するためその
前後の時期と比べ電力需
要が大きく低下します。

秋季への事業活動の振替えによる節電対策

- 6 か月程度を対象期間として変形労働時間制を導入する。（労使協定の締結・届け出 + 就業規則の変更・
届け出必要）
- 夏季及び秋季に 6 か月程度の変形労働時間制を導入し、夏季には所定労働時間
を少なく設定し、その分の労働時間を秋季に割り振ります。

その理由は？ 秋季は夏季に
比べ電力需要が低下します。

その他の節電対策

- フレックスタイム制 ・ 在宅勤務



【対策実施に当たりみんなで納得、協力して取り組むために大切なこと】

- 各企業・事業場での節電の取り組み目標を労使で共有しましょう。
- 雇用・就業が継続できる手法を工夫しましょう。
- 育児・介護など家族的責任のある労働者に十分に配慮しましょう。

詳しくは下記を参照下さい

（厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001apoc-att/2r9852000001c15i.pdf>

（環境省）スーパークールビズ

<http://www.challenge25.go.jp/practice/coolbiz/coolbiz2011/>

“ニュースから見る” 実際進んでいるの？ スーパークールビズ!?

帝国データバンクの企業意識調査発表によると、クールビズの取り組み状況は、すでに開始している企業は 7 割を超え、今後検討中と回答した企業を合わせると初めて 8 割を超えました。7 年目を迎えたクールビズが今回の電力不足等を背景に広く浸透し、36.3%の企業が政府目標以上の電力使用削減を考えており、働き方の意識が一步進んだ事を伝えています。（2011 年 7 月 5 日発表）

今夏は6月～9月までのクールビズをさらに進化した軽装や暑さをしのぐ対策「スーパークールビズ」が呼びかけられています。そこで愛媛県内に勤務されている皆様にこの運動に対してどの様に思われているか、また自宅などで行っている工夫などについてアンケート調査をご紹介します。94 名の方に回答いただきました。

あなたはスーパークールビズを知っていますか？	はい	79%	クールビズで仕事をしている	51%
	いいえ	18%	出来ない・していない	26%
	無回答	3%	無回答	23%

一般的にもクールビズは定着してきましたが、環境省が今年推進しているアロハシャツ、Tシャツ、ポロシャツ、ジーンズの着用を認める試みが話題になりました。あなたはクールビズで仕事をされていますか？それについてどう思われますか？

- 職場によっては違うと思いますが、アロハシャツ、短パンはどうかと思う。気持ちの切り替えができないと思う。(40代 女性)
- クールビズで仕事をしています。気候に合わせた服装は体調にも良いと思いますので、スーパークールビズも良いとは思いますが、ビジネスシーンに違和感のない服のバリエーションがあれば受け入れられるのではと思います。(20代 女性)
- クールビズではありません。接客する立場なので制服着用です。暑いですが、常識の範囲であれば、アロハやTシャツ等でもOKだと思います。(30代 女性)
- ノージャケット・ノーネクタイスタイルのクールビズを実施している。気候に合わせたファッションは合理的で良いと思います。(50代 男性)
- クールビズで涼しく仕事をしています。接客する方・される方とも快適で、省エネにも繋がります。(30代 男性)
- 見た目にも涼しげに感じられるので良いと思います。(20代 男性)
- 常にスーツです。クールビズはよいが全ての職場では難しいと思います。(30代 女性)
- 日本人の夏季の服装に対する常識を改めクールビズを大いに推進する必要があるのでは。(60代 男性)
- 相手先に不快に思われない程度なら良い。(30代 女性)
- 国で条例にでもしてくれないと一企業でするには限界あり。(50代 男性)

今後、職場の新しい取り組みとして厚労省が推進している働き方の工夫（朝方シフト・ノー残業デー・夏季休暇）についてのご意見があればお聞かせ下さい。

- ◆ その事により創出された時間の過ごし方次第で良いものにもなるし悪いものにもなる。ただ単に遊びに使えば良いものではないし、仕事の密度が濃くなってもいけると思う。(50代 男性)
- ◆ 今年度よりノー残業デーも増え良い取り組みだと思う。(30代 女性)
- ◆ 職場に応じて積極的に取り入れるべきだと思います。(30代 女性)
- ◆ 業種で決めて行なえば効果大。(50代 男性)
- ◆ 対応できる業種であれば朝方シフトも有効かも知れませんが、残業で対応するのであれば休暇等での対応の方が効果が出ると思います。(20代 女性)
- ◆ 夏季休暇は体調管理の面でも必要だと思います。(20代 女性)
- ◆ 職種により、難しい面もある。(40代 女性)
- ◆ 家庭、家計に影響が無く健康に悪影響が無いのであればOK。(20代 男性)
- ◆ 各企業にあった工夫を進める事は良いと思う。(30代 男性)
- ◆ ノー残業デーは節電にもなるし自分の時間も持てるのでとても良い事だと思います。(20代 女性)
- ◆ 朝方シフト賛成だが、公共交通の関係で困難、夏季休暇を増やしてほしい。(50代 男性)
- ◆ 朝方シフト勤務、ノー残業デーは、業種全体で取り組むべき。利便性と省エネの同時進行は難しい、本気で省エネに取り組むのであれば、多少の不便さは覚悟しなければならない。(40代 男性)



職場では、省エネに関してどのような事をされていますか？また省エネ対策へのご要望があればご自由にご意見お聞かせ下さい。

- エアコンの温度設定、こまめなスイッチを意識しています。(20代 男性)
- 営業時間外は照明を暗くする。(20代 男性)
- オフィスはOA機器の電力消費が大きいと聞いています。マイクロソフトのホームページで省エネのプログラムをダウンロードできると先日テレビで放映していました。(20代 男性)
- 街中の緑を増やし街全体をグリーンカーテンで囲う。(50代 男性)
- ガソリン節約のためゆっくり発進。(40代 男性)
- 外勤の時はなるべく車の窓を開け運転。(40代 女性)
- 待機電力をなくす。扇風機の活用、省エネ照明LEDへの取り換え。(50代 男性)
- ノー残業デーの設定・業務後のすばやいライトダウン。(30代 男性)
- 国がもっと力をいれて取り組んでほしい。(30代 男性)
- 昼休み時の消灯。(40代 男性)
- エアコン設定温度 28 は以前、他店でお客様の苦情となり実施できていません。(40代 男性)
- 照明を間引きしました。(50代 男性)
- 冷房の冷やし過ぎの所もあり、考慮も必要と思う。(50代 男性)
- 職場はサービス業なので限度がある。(50代 男性)

- ◇ アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。
- ◇ 紙面の都合上全ての回答は掲載されていません。全ての回答は労福協のホームページにて紹介しています。

ご家庭で行なっている節電対策として工夫されていることはありますか？

- ◆ 窓の開放・待機電力のチェック・シャワーの温度設定・うち水等挙げればきりがありません。(50代 女性)
- ◆ 未使用の家電製品のコンセントを抜く。夜早めに寝る。(30代 女性)
- ◆ LED電球への取り換え。(40代 男性)
- ◆ 省エネ機器への買い替え。(60代 男性)
- ◆ エアコンと扇風機の併用。(40代 女性)
- ◆ 緑のカーテンをしようと思います。(40代 女性)
- ◆ 玄関に網戸を設置し風通りをよくする。(30代 女性)
- ◆ すだれを使用。(20代 男性)
- ◆ 家族全員で同じ場所で過ごす様にする。(50代 男性)
- ◆ 早寝・早起き。(40代 男性)

スーパークールビズで「仕事と生活の調和」を！
いい仕事しよう。いい人生しよう。

今回アンケートでは、ノー残業デーや朝方シフトについての多くの声が寄せられました。賛否はありますが、節電協力にむけた意識とともに、家庭生活にゆとりが生まれることへの期待や喜びの声も見られました。

今夏の働き方は、節電対策はもちろんのこと、仕事の効率化や「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」を進めることの意味も大いに含まれています。また震災で、被災地を中心に雇用の悪化も予想されています。今こそ、積極的にワークライフバランスをすすめ、一人が長時間労働するのではなく、社会全体で仕事をシェアしていくことが以前にも増して求められているのではないのでしょうか。

仕事は暮らしを支えます。その暮らしがゆとりあるものならば、人生はもっと価値あるものになるはずです。価値観や、スタイルを変えると、良いことにいっぱい出会えるかも知れませんね？！

編集後記 節電が問われている今夏、エアコンも適切に使いましょう。また熱中症予防に水分補給をこまめにしましょう。エネルギーをなるべく使わずに快適に夏を過ごす知恵がいっぱいでした。自分のための時間、家族と過ごす時間、持っていますか？ゆとりの時間が出来ればあなたは何かがしたいですか？家族揃って、うちに浴衣・季節感いっぱいの夏を涼しく過ごしたいですね。(S山・Y山)

愛媛県委託事業（平成23年度 労働者の声発信事業）

発行 社団法人 愛媛県労働者福祉協議会

〒790-0066 松山市宮田町125番地 愛媛県労福協会館 3階

TEL 089-946-2296 FAX 089-947-5616

Email e-roufuku@leo.e-catv.ne.jp HP <http://ehime.rofuku.net/>

